
[成果情報名] ヤマアジサイと西洋アジサイの種間交雑による新系統の育成

[要約] ヤマアジサイ「マイコアジサイ」と西洋アジサイ「ホバリアホベラ」の種間交雑により、小輪で多花性を示す「福花 6 号」、「福花 7 号」、「福花 8 号」および「福花 9 号」を育成した。「福花 6 号」および「福花 7 号」は花色が桃色の手まり咲きタイプ、「福花 9 号」は白色の手まり咲きタイプ、「福花 8 号」は薄桃色のガク咲きタイプである。

[キーワード] ヤマアジサイ、西洋アジサイ、種間交雑、小輪、多花性

[担当部署] 花き部・花き育種チーム

[連絡先] 092-922-4958

[対象作目] 花き・花木 [専門項目] 育種 [成果分類] 品種育成

[背景・ねらい]

アジサイは、県内の主要な鉢物であるシクラメンとの組み合わせ品目として栽培されており、「母の日」等のギフト商品として需要が多い。近年、大型花冠を持つ既存品種に対する消費意欲の減退に伴い、価格は低迷し、市場では多様な特徴を有する品種のニーズが高まっている。

そこで、ヤマアジサイの可憐さと西洋アジサイの優れた栽培特性を併せ持つ小輪・多花性品種を種間交雑によって育成する。

[成果の内容・特徴]

- 1 . 平成15年 5 月、西洋アジサイ「ホバリアホベラ」とヤマアジサイ「マイコアジサイ」の交雑を行い、胚珠培養により約 200 個体の雑種個体を得た。17 年度に得られた雑種個体の中より、小輪で前年枝の腋芽にも花冠が着生する系統の 1 次選抜を行い、18 年度に 5 月出し栽培で特に有望な 4 系統を選抜した。
- 2 . 「福花 6 号」は花色が桃色（JHS カラーチャート：淡紫ピンク）の手まり咲きのアジサイで、花冠数は西洋アジサイの約 5 倍と非常に多く、満開期以後、花色は緑色に変化する（表 1、図 1、一部データ略）。
- 3 . 「福花 7 号」は花色が桃色（淡紫ピンク）で手まり咲きかつ矮性のアジサイで、満開期には装飾花の中心が赤く着色し、以後花色は緑色から赤色に変化する（表 1、図 1、一部データ略）。
- 4 . 「福花 8 号」は花色が白色から薄桃色（ピンク白）に変化するガク咲きのアジサイで、矮性の系統である（表 2、図 1）。
- 5 . 「福花 9 号」は花色が白色（黄白）の手まり咲きのアジサイで、満開期以後、花色は緑色に変化する（表 1、図 1、一部データ略）。

[成果の活用面・留意点]

- 1 . 従来栽培品種に無い特性を有しており、本県の特産品種として、鉢物産地で活用できることから、品種登録を出願する予定である。
- 2 . 母の日等のギフト商材だけでなく、ホームユース商材として活用できる。

[具体的データ]

表 1 手まり咲き系統「福花 6号」、福花 7号」および「福花 9号」の開花期の形質 (平成18年)

	樹高 cm	葉の大きさ		花冠の大きさ		装飾花の 直径 cm	1株当たり の花冠数	装飾花の色 (満開期)
		葉身長 cm	葉幅 cm	高さ cm	幅 cm			
福花 6号	32.5	7.4	4.6	6.8	11.6	3.6	10.2	淡紫ピンク
福花 7号	23.1	6.1	3.9	7.4	11.2	3.3	9.0	淡紫ピンク
福花 9号	31.5	6.6	3.6	7.1	12.6	4.0	5.3	黄白
ミセスクミコ	34.3	12.8	9.4	16.0	23.0	8.0	2.0	鮮紫ピンク

注 1) 耕種概要 17年 6月中旬 挿し木、7月中旬 3号ポリポット鉢上げ、18年 2月16日ガラス室加温開始 (最低夜温 10)、2月下旬 4SAプラスチック鉢定植、5月上中旬開花

2) 装飾花の色 JHSカラーチャートによる

表 2 ガク咲き系統「福花 8号」の開花期の形質 (平成18年)

	樹高 cm	葉の大きさ		花冠の 直径 cm	装飾花の 直径 cm	1株当たり の花冠数	装飾花の色 (満開期)
		葉身長 cm	葉幅 cm				
福花 8号	22.2	7.7	4.1	8.8	4.6	6.6	ピンク白
ホバリアホベラ	35.0	10.4	8.5	22.9	9.3	2.0	淡紫ピンク

注) 表 1に同じ



「福花 6号」



「福花 7号」



「福花 8号」



「福花 9号」

図 1 育成した 4系統の開花期の草姿 (平成18年 5月)

[その他]

研究課題名：種間交雑等によるアジサイの品種育成

予算区分：経常

研究期間：平成18年度 (平成16～21年)

研究担当者：巢山拓郎、谷川孝弘、山田明日香、黒柳直彦、坂井康弘

